

【事業の名称】(選定年度2024年度)
日欧が相補的に提供するLearning Agreement型国際共同学位プログラム

【交流推進事業の概要】

多文化多言語を理解し、
あらゆる流動性に適応できる高度グローバル人材

～ 2040年、地球規模の頭脳循環の一翼を担う日本となるために ～

Diverse!
Networking!



【交流プログラムの概要】
慶應義塾大学理工学研究科と欧州パートナー校が時代に即した重点分野に関する科目群やプロジェクトを学生に提示し、修士ダブルディグリープログラムの期間を通して日欧が相補的に科目や研究環境を提供することで、単独では実現できない当該分野を深く学修する機会を実現する。学生は慶應義塾大学およびパートナー校とLearning Agreementを交わし、修了時に慶應義塾大学がDouble Degree Certificateを発行してプログラム期間での学修内容を明示することにより当該分野でのキャリア形成にも寄与するプログラムである。

【本事業で養成する人材像】

- ・重点分野において高い専門性を有する
- ・母国語および英語を運用し、一対一に留まらず多数数での専門分野の議論をリードできる
- ・地球規模の多様な重要課題に対して、自らの専門性を軸に多様な人材との対話を通じて対応策を提案できる
- ・多文化、多言語への理解が深く、多様性に寛容でその意義を理解している
- ・一箇所に留まることなく、自身の活躍の場を流動的に探索できる

【本事業の特徴】
国際共同学位プログラムの提供に加えて、日本人学生の準備レベルに応じて設計された留学エンカレッジプログラムおよび本プログラム修了生のキャリアパスを支援する頭脳循環ネットワークイベントであるKeio Double Degree Dayも提供する。留学エンカレッジプログラムでは、多様性の本質的な意義に触れる機会が少なかった日本人の学部学生に対して、自身のキャリアパスにおいて海外を知ることの価値を意識する機会を提供し、修士課程において国際共同学位プログラムに挑戦する意欲を掻き立てる。Keio Double Degree Dayでは、修了後のキャリアパスを支援するために、国際共同学位プログラムを修了した価値を最大限活かせるフォローアップの場を提供する。そこでは、ダブルディグリー修了生・現役生に加えて、日欧ダブルディグリー修了生の採用に積極的な企業などにも参加いただき、新たな出会いと人材のモビリティ向上の一助とする。

【交流予定人数】

	2024	2025	2026	2027	2028
学生の派遣	35	65	70	90	100
学生の受入	40	55	55	55	55